

広島市スポーツ施設の一覧

※有料施設(西部埋立第六公園は除く)のみ掲載
 ※他に無料で使えるスポーツ施設は多数有り

新規 県施設 県大会開催

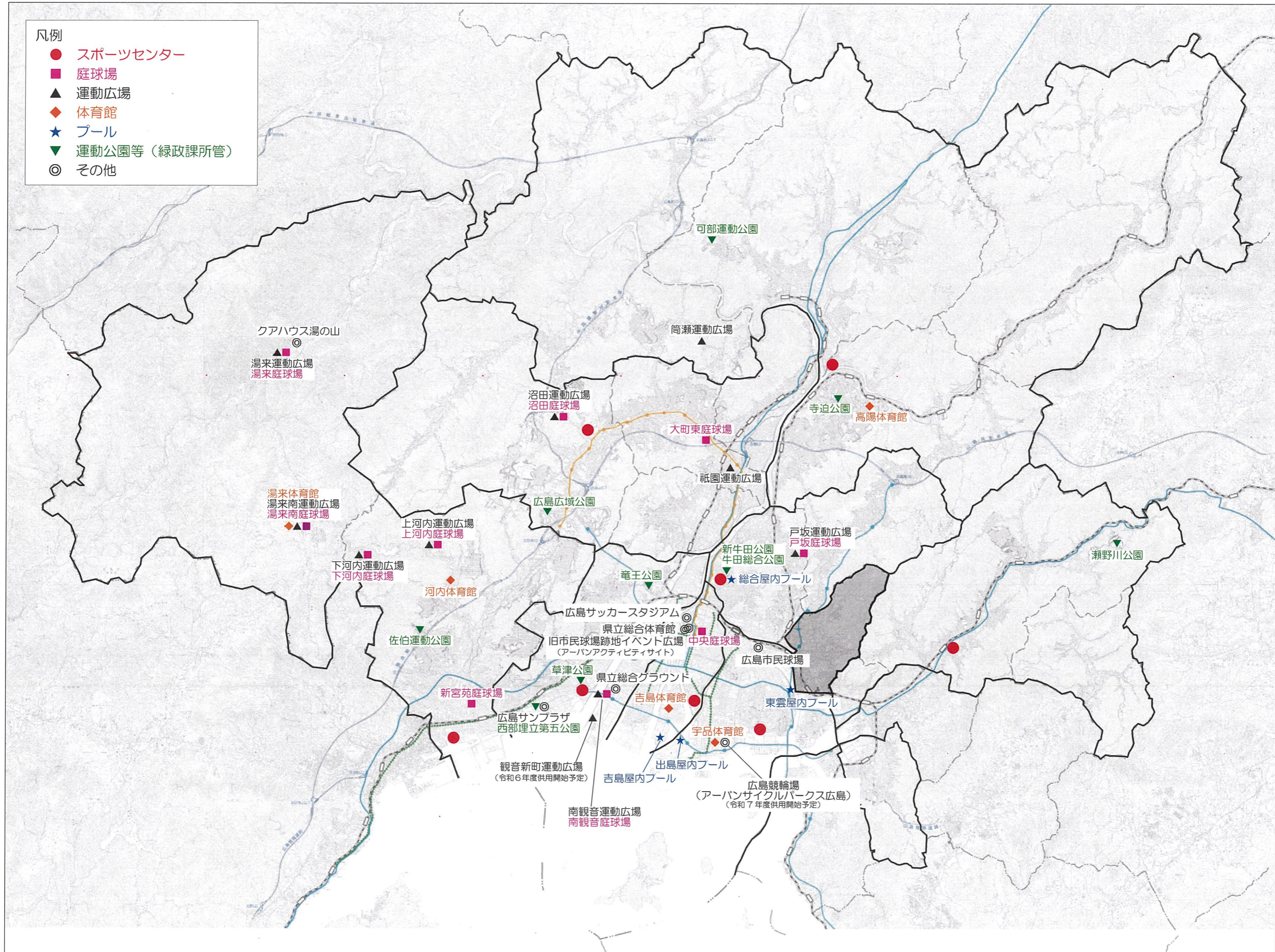
令和6年3月時点

区分	No.	施設	施設名	開設年月日	施設整備状況 経過 年数	施設活用状況													
						大 体育室	中 体育室	小 体育室	体育室	運動 広場	テニスコート	プール	トレー ニング室	柔道場	剣道場	弓道場	スケート	会議室	
観戦型	1	総合屋内プール		平成3年8月1日	32							●				●	●		
	2	広島広域公園		平成5年4月1日	30					● 照明あり	●								
	3	広島市民球場		平成21年4月1日	14					● 照明あり									
	4	広島サッカースタジアム		令和6年2月1日	-					● 照明あり									
	5	広島県立総合体育館		平成5年4月1日	30	●		●				●	●	●	●	●	●		
	6	広島県立総合グラウンド		昭和16年12月7日	82					● 照明あり			●					●	
	7	広島サンプラザ		昭和60年9月1日	38	●		●										●	
活動型	スポーツセンター	8	中区スポーツセンター	昭和63年5月8日	35	●		●					●					●	
		9	東区スポーツセンター	平成1年5月7日	34	●		●					●					●	
		10	南区スポーツセンター	昭和55年5月1日	43		●						●	●	●			●	
		11	西区スポーツセンター	昭和56年6月1日	42		●	●		● 照明あり			●						●
		12	安佐南区スポーツセンター	昭和60年4月20日	38	●		●			●	●	●	●	● 柔剣道場		●		●
		13	安佐北区スポーツセンター	平成4年3月21日	32	●		●				●	●	●					●
		14	安芸区スポーツセンター	昭和59年5月19日	39	●		●			●	●	●	●					●
		15	佐伯区スポーツセンター	平成3年5月19日	32	●		●					●	●			●		●
		16	屋内プール	中区スポーツセンター 吉島屋内プール	開設:昭和52年9月1日 建替:令和5年9月30日	-							●						
	17	南区スポーツセンター 東雲屋内プール	昭和63年6月1日	35								●						●	
	18	南区スポーツセンター 出島屋内プール	平成20年9月1日	15								●	●						
	19	体育館	吉島体育館	開設:昭和51年5月1日 建替:平成23年9月1日	12				●										●
	20		南区スポーツセンター 宇品体育館	昭和58年5月8日	40			●											●
	21		高陽体育館	昭和39年7月23日	59				●										
	22		河内体育館	昭和59年3月1日	40									●	●				
	23		佐伯区スポーツセンター 湯来体育館	平成10年11月11日	25		●							●		●			
	24	運動公園	新牛田公園	平成6年4月1日	29					●	●								
	25		牛田総合公園	平成9年9月21日	26					●	●								
	26		竜王公園	昭和55年3月1日	44				●	●	●								
	27		草津公園	昭和39年4月1日	59					●	●								
28	西部埋立第五公園		昭和60年9月1日	38					●	●									
29	寺迫公園		昭和58年3月1日	41					●	●									
30	可部運動公園		昭和56年3月18日	43					●	●									
31	瀬野川公園		平成6年4月1日	29				●	●	●									
32	佐伯運動公園	平成8年4月1日	27					●	●										

区分	No.	施設	施設名	開設年月日	施設整備状況 経過年数	施設活用状況														
						大 体育室	中 体育室	小 体育室	体育室	運動 広場	テニスコート	プール	トレーニ ング室	柔道場	剣道場	弓道場	スケート	会議室		
活動型 (続き)	33	運動 広場	戸坂運動広場	昭和54年10月1日	44					● 照明あり										
	34		南観音運動広場	昭和54年11月1日	44					●										
	35		祇園運動広場	昭和53年4月1日	45					● 照明あり										
	36		沼田運動広場	昭和63年4月10日	35					●										
	37		筒瀬運動広場	令和4年4月1日	1					●										
	38		上河内運動広場	平成1年4月23日	34					●										
	39		下河内運動広場	昭和57年4月1日	41					●										
	40		湯来運動広場	昭和56年12月7日	42					● 照明あり										
	41		湯来南運動広場	平成8年4月1日	27					● 照明あり										
	42		観音新町運動広場	令和6年度中(予定)	-					● 照明あり										
	43	庭 球 場	中央庭球場	昭和24年9月8日	74						● 照明あり									
	44		戸坂庭球場	昭和54年10月1日	44						● 照明あり									
	45		南観音庭球場	昭和54年11月1日	44						●									
	46		沼田庭球場	昭和63年4月10日	35						●									
	47		大町東庭球場	令和5年4月1日	0						● 照明あり									
	48		上河内庭球場	平成1年4月23日	34						●									
	49		下河内庭球場	昭和57年4月1日	41						●									
	50		新宮苑庭球場	昭和53年4月1日	45						●一部照明あり									
	51		湯来庭球場	昭和56年12月7日	42						● 照明あり									
	52		湯来南庭球場	平成8年4月1日	27						●									
53	ア ー バ ン	旧市民球場跡地イベント広場 (アーバンアクティビティサイト)	令和5年3月31日	1					●											
54		西部埋立第六公園 (スケートボード場)	平成14年3月1日	22					●											
55		広島競輪場 (アーバンサイクルパークス広島)	令和7年度中(予定)	-					●											
56	その他	クアハウス湯の山	平成6年7月8日	29							●	●								

広島市スポーツ施設の配置図

令和6年3月時点



中国5県の武道館・武道場の整備状況

【抽出方法】①各都市の条例にある施設 ②「武道館」、「武道場」または武道に係る名称が付く施設 ③面積が4面または700㎡以上確保できる施設

※③については、ホームページ上に面積の記載のない施設は除いている。

県	市	施設名称	設置者		施設概要			
			市	県	面積等	収容人数等	建設年・開館年	備考
広島県	広島市	広島県立総合体育館・武道場 (広島グリーンアリーナ)		●	約2,200㎡ (31m×72m) (剣道8面(最大12面)、柔道8面)	固定席：約600席	1993年	
岡山県	岡山市	岡山武道館		●	主道場：791㎡ (剣道4面、柔道4面) 練習道場：384㎡	主道場：客席数2448席 (2階固定席1688席、1階移動席760席)	1970年	
	総社市	総社市武道館		●	武道場：1186.05㎡	—	—	
	美作市	宮本武蔵顕彰武蔵武道館		●	メインアリーナ：1376㎡ (剣道6面) 武道場：322㎡ (剣道場、柔道場2面)	メインアリーナ：2階観客席838席	2000年	剣聖・宮本武蔵の誕生の地である大原地域に「武蔵の里」のシンボルとして、また剣道のメッカとなることを目指して建設された武道施設
山口県	下関市	県立下関武道館		●	大道場：約1,824㎡ (剣道公式6面、柔道公式6面) 柔道場：約640㎡ (柔道公式2面) 剣道場：剣道公式2面	大道場：固定席1,030席、車椅子6席 柔道場：固定席128席、車椅子6席 剣道場：固定席130席、車椅子6席	2011年	
	宇部市	宇部市武道館		●	1階稽古場：666.9㎡ (剣道、柔道1面) 2階競技場：1,387.5㎡ (剣道6面、柔道4面)	観客席308人、立ち見500人	1992年	
	山口市	維新大晃アリーナ・武道館		●	848㎡ (剣道2面、柔道2面)		1984年	同一競技4面利用可
	防府市	防府市スポーツセンター・武道館 (麒麟レモンスタジアム)		●	剣道4面、柔道4面		1993年	
	岩国市	岩国市総合体育館武道場		●	1,260㎡ (剣道4面、柔道4面)	固定席116席	1995年	
鳥取県	米子市	鳥取県立武道館		●	主道場：1,634㎡ (通常6面、全国大会4面(660畳)) 小道場1：540㎡ (通常2面、全国大会1面) 小道場2：540㎡ (通常2面、全国大会1面)	主道場：観客席955席、身障者対応6席	2000年	
	鳥取市	鳥取市武道館		●	840㎡ (柔剣道場4面)	定員：500人	1971年	
島根県	松江市	島根県立武道館		●	876㎡ (剣道4面、柔道4面)	収容人数：1,500人 (うち固定席512席)	1970年	

政令指定都市（及び政令指定都市がある都道府県）の武道館・武道場の整備状況

【抽出方法】①各都市の条例にある施設 ②「武道館」、「武道場」または武道に係る名称が付く施設 ③その他政令指定都市がある都道府県内の主な県立施設

※市・県のホームページ等を参考に作成。

※「施設概要」の「面積等」の面数は、ホームページ等で掲載されているものは（〇面）と記載。面積のみ掲載されているものは、200㎡を1面相当として計算し、【※〇面】と記載。

所在地 【個数】	施設名称	設置者		施設概要			
		市	県	面積等	収容人数等	建設年・開館年	備考
札幌市 【12】	中央体育館（北ガスアリーナ）	●		剣道室：230㎡ 武道室：232㎡ 柔道室：225㎡ 【※1面】	—	—	2019年4月リニューアルオープン
	北区体育館	●		格技室：200.7㎡ 【※1面】	—	1983年	
	東区体育館	●		格技室：251㎡ 【※1面】	—	—	2021年1月リニューアルオープン
	白石区体育館	●		格技室：202.57㎡ 【※1面】	—	1985年	
	厚別区体育館	●		格技室：245㎡ 【※1面】	—	1981年	
	豊平区体育館	●		格技室：230㎡ 【※1面】	—	1984年	
	清田区体育館	●		格技室：238㎡ 【※1面】	—	—	2021年4月リニューアルオープン
	南区体育館	●		格技室：282㎡ 【※1面】	—	1984年	
	西区体育館	●		格技室：265.6㎡ 【※1面】	—	1986年	
	手稲区体育館	●		格技室：215㎡ 【※1面】	—	1981年	
	中島体育センター	●		格技室：379㎡ 【※1面】	—	1980年	
	北海道立総合体育センター武道場		●	柔道室450㎡（2面） 剣道室451㎡（2面）	—	1999年	剣道室・柔道室を一体利用の場合は、4面
仙台市 【3】	仙台市武道館	●		柔道場：492.37㎡（30.5㎡×16m）（2面） 剣道場：492.82㎡（30.5m×16m）（2面） 弓道場：588.00㎡（射場99㎡）（6人立）	—	1988年	
	泉武道館・泉弓道場（仙台市泉総合運動場）	●		柔道場：491㎡（2面） 剣道場：491㎡（2面） 射場325㎡（12人立）	弓道場 200席	1978年	
	宮城県武道館・宮城県弓道場（宮城県第二総合運動場）		●	面積：1,744㎡ 延べ面積：5,447㎡ 柔道場：3面 剣道場：3面 弓道場・射場：10人立	柔道場・剣道場 366席 弓道場 144席	武道館 1981年	宮城県弓道場 （近的弓道場）2000年4月開設 （遠的弓道場）1999年3月開設
さいたま市 【4】	浦和駒場体育館	●		柔道場：227㎡、88畳 【※1面】 剣道場：232㎡ 【※1面】	—	1974年	
	大宮体育館	●		剣道場、柔道場	—	1978年	
	さいたま市大宮武道館	●		主道場：1,122㎡（34m×33m）、スポーツフロア 剣道場：540㎡（30m×18m）、2面、スポーツフロア 柔道場：540㎡（30m×18m）、2面、スポーツ畳	主道場 498席	1991年	
（埼玉県上尾市）	岩槻文化公園（体育館）	●		柔道場、剣道場：472㎡【兼用】 【※2面】	—	1988年	
	埼玉県立武道館		●	主道場：1,887㎡（柔道・剣道8面） 第一道場：810㎡（3面） 第二道場：810㎡（3面）	1,510席 202席 202席	2003年	国体の柔道会場として使用するために新築
千葉市 【4】	千葉市武道館	●		柔道・剣道兼用	—	—	※現在はなし
	千葉公園スポーツ施設（柔道場）	●		畳張り2面	—	—	老朽化した「千葉市武道館」、「千葉公園体育館」及び「千葉中央コミュニティセンター体育施設」の機能を集約し、令和5年4月に「YohaSアリーナ」として供用開始
	千葉公園スポーツ施設（剣道場）	●		板張り2面（なぎなた2面）	—	—	
	県総合スポーツセンター（武道館）		●	第1道場：512畳【※2面】、第2道場：270畳【※1面】	—	1981年	
横浜市 【2】	横浜武道館	●		【2階・アリーナ】 2,622㎡ 【1階・武道場】 864㎡（通常は剣道・柔道各2面）	アリーナ 約3,000席 武道場 約500席	2000年	剣道室・柔道室を一体利用の場合は、 【2階・アリーナ】2,622㎡ 8面 【1階・武道場】 864㎡ 4面
	神奈川県立武道館		●	柔道場 400畳（4面） 剣道場 縦19m×横50m（4面）	柔道場：220席 剣道場：188席	1982年	
川崎市 【5】	川崎市高津スポーツセンター	●		第1武道室（剣道など）：168㎡【※1面】 第2武道室（柔道など）：168㎡【※1面】 研修室（空手など）：60.84㎡	—	1997年	
	川崎市多摩スポーツセンター	●		第1・2武道室：369.98㎡【※1面】	—	2011年	第1・第2武道室は一体利用可能
	川崎市麻生スポーツセンター	●		第1武道室（剣道など）：197.47㎡【※1面】 第2武道室（柔道など）：197.47㎡【※1面】	—	1986年	
	川崎市石川記念武道館	●		柔道場、剣道場	—	1976年	
	川崎市スポーツ・文化総合センター（カルッツかわさき）	●		武道室（柔道、剣道など）：329㎡（2面）	—	2017年	一体利用可
相模原市 【2】	相模原市立総合体育館 柔道場（ギオンアリーナ）	●		柔道場：480㎡（16m×30m、256畳）柔道2面 剣道場：480㎡（16m×30m）剣道2面、空手	—	1981年	2009年10月リニューアルオープン
	相模原市立北総合体育館 柔道場（ほねごりアリーナ）	●		柔道場：（160畳）17m×14m 柔道1面、合気道等 剣道場兼卓球場：剣道2面、空手等	—	1991年	

所在地 【個数】	施設名称	設置者		施設概要			
		市	県	面積等	収容人数等	建設年・開館年	備考
新潟市 【10】	新潟市豊栄武道館	●		剣道場1面	—	—	
	鳥屋野総合体育館 武道館	●		柔道場480㎡ (2面) 剣道場480㎡ (2面)	—	1983年	公式戦4面使用可能
	新潟市亀田総合体育館	●		柔道場：507.32㎡ (14m×27m) (2面) 剣道場：507.32㎡ (15m×27m) (2面)	—	—	
	新潟市横越総合体育館	●		剣道場：263㎡ (16.22m×16.22m)	—	1994年	
	新潟市小須戸武道館 (演武場)	●		柔道 剣道	—	—	
	新潟市新津武道館 演武場	●		剣道・柔道各2面	約250席	1980年	剣道室・柔道室を一体利用の場合は、4面
	新潟市味方体育館	●		柔道場1面	—	—	
	新潟市黒埼地区総合体育館 (武道館)	●		柔道場 (14.2m×13.0m) 剣道場 (14.2m×18.2m)	—	—	
	新潟市中之口体育館 (柔剣道場)	●			—	—	
	白根総合公園白根カルチャーセンター	●		柔道場 (24.8m×14.4m)	—	—	
(新潟県上越市)	新潟県立武道館		●	大道場：2,149.84㎡ (柔道 8面、剣道 8面) 小道場：923.34㎡ (柔道 3面) 小道場：712.92㎡ (剣道 2面)	大道場 1,020席 小道場 206席	2019年	
静岡市 【6】	静岡市清水総合運動場 (武道場)	●		剣道場 (15.7m×15.1m) [※1面] 柔道場 (15.7m×13.2m) [※1面]	—	—	剣道場、柔道場の一体利用可
	静岡市中央体育館	●		剣道場 (18.8m×14.7m) [※1面] 柔道場 (18.5m×14.7m) [※1面]	—	—	剣道場、柔道場の一体利用可
	静岡市東部体育館	●		剣道場 (13.5m×11.5m) [※1面] 柔道場 (13.5m×11.5m) [※1面]	—	—	
	静岡市北部体育館	●		剣道場 (18.0m×27.0m) [※1面] 柔道場 (18.0m×27.0m) [※1面]	—	—	剣道場、柔道場の一体利用可
	静岡市南部体育館	●		剣道場 (17.8m×13.2m) [※1面] 柔道場 (17.8m×13.2m) [※1面]	—	—	
	静岡市長田体育館	●		剣道場 (13.2m×13.0m) [※1面] 柔道場 (15.0m×13.3m) [※1面]	—	—	
	(静岡県藤枝市)	静岡県武道館		●	大道場 (柔道・剣道各6面) 第一道場 (柔道・剣道各2面) 第二道場 (柔道・剣道各2面)	(大道場) 2階に固定席 2,040席 フロアに2,500 席仮設で設置 可能。 (第一・二道場) 各200席	2002年
浜松市 【5】	浜松市武道館	●		剣道・柔道各2面	—	1977年	剣道室・柔道室を一体利用の場合は、4面 現在建替え検討中
	浜北武道館	●		1F：剣道場、2F：柔道場	—	—	
	天竜武道館	●			—	—	
	三ヶ日B&G海洋センター (アリーナ)	●		格技室：430㎡ [※2面]	—	—	
	引佐総合体育館 (柔道場)	●		柔道場、剣道場	160人	—	
名古屋 【2】	名古屋市露橋スポーツセンター	●		剣道場：497.35㎡ 柔道場：497.35㎡ [※2面]	105席	1982年	
	愛知県武道館・大道場 第1競技場		●	1,598㎡ [※7面]	固定席 1,504席 移動席 720席	1993年	
京都市 【1】	京都市武道センター・本館 主競技場	●		1,344㎡ ※面数記載なし 補助競技場 (310㎡/180畳程度) 剣道、柔道、なぎなた、合気道、武術太極拳 [※1面] 旧武徳殿 (354㎡/200畳程度) 剣道、柔道、なぎなた、合気道、武術太極拳 [※1面]	880席	—	
大阪市 【4】	大阪市中央体育館 (Asueアリーナ大阪)	●		柔道場：545㎡ (2面) 剣道場：545㎡ (2面)	—	1996年	
	千島体育館	●		柔道場：175㎡ [※1面] 剣道場：227㎡ [※1面]	—	—	
	修道館	●		全面積728㎡ (56m×13m) (剣道4面、柔道4面)	—	1962年	
	大阪府立体育会館 (エディオンアリーナ大阪)		●	柔道場：450㎡ (248畳/29m×15.5m) [※2面] 剣道場：450㎡ (29m×15.5m) [※2面]	—	1987年	

所在地 【個数】	施設名称	設置者		施設概要			
		市	県	面積等	収容人数等	建設年・開館年	備考
堺市 【1】	大浜武道館	●		柔道場：32.5m×16m 520㎡ ・試合場2面 剣道場：32.5m×16m 520㎡ ・試合場2面	各154席	2021年	
神戸市 【3】	神戸市立王子スポーツセンター	●		剣道場：607㎡ [※3面] 柔道場：528㎡ [※2面]	—	1978年	兵庫国体の開催に合わせて竣工。
	北須磨文化センター	●		柔剣道室：156㎡ [※1面]	—	—	
	神戸常盤アリーナスポーツ館		●	柔道場：190㎡ [※1面] 剣道場：190㎡ [※1面]	—	1998年	旧施設が阪神・淡路大震災で倒壊したため、建て替えられ1998年に現施設が完成。
(兵庫県姫路市)	兵庫県立武道館		●	第1道場：34.4m×34.4m (4面) 第2道場：33m×66m (8面)	第1道場 1,980席 第2道場 1,034席	2002年	国内最大級
岡山市 【7】	西大寺武道館	●		1階剣道場 (377㎡) [※1面] 2階剣道場 (358㎡) [※1面] 柔道場 (128畳) [※1面]	—	—	
	野山武道館	●		剣道場 (78㎡) [※1面] 柔道場 (128畳) [※1面]	—	—	
	建部町B&G海洋センター (武道館)	●		剣道場 (99㎡) [※1面] 柔道場 (82㎡) (50畳) [※1面]	—	1981年	
	浦安総合公園 (総合文化体育館・メインアリーナ)	●		剣道：64m×40m (2,560㎡) (6面)	4500人	1982年	
	浦安総合公園 (総合文化体育館・武道場)	●		柔道場：15m×30m (450㎡) (2面) 剣道場：15m×30m (450㎡) (2面)	—	1982年	
	上南剣道練習場	●			—	—	
	岡山武道館		●	主道場：791㎡ (4面) 柔道場：384㎡ (2面) 剣道場：384㎡ (2面)	主道場 2448席	1970年	
広島市 【4】	南区スポーツセンター	●		柔道場：18.1m×18.9m 128畳 [※1面] 剣道場：18.1m×18.9m 128畳 [※1面]	—	1980年	
	安佐南区スポーツセンター	●		柔剣道場：29m×15m (2面)	85席	1985年	
	河内体育館	●		1階 柔道場/168㎡ (84畳) [※1面] 2階 剣道場/206.4㎡ [※1面]	—	1984年	
	広島県立総合体育館 (広島グリーンアリーナ) 武道場		●	柔道8面・剣道8面 (最大12面)	約600席	1993年	
北九州市 【9】	門司青少年体育館	●		柔道、剣道	—	—	
	小倉北柔剣道場	●		1F：柔道、2F：剣道	—	—	
	小倉南武道場	●		柔道場329.64㎡ (2面) 剣道場329.64㎡ (2面) 弓道場6人立ち	—	—	
	大里柔剣道場	●		柔道場320.32m2 (168条畳) [※1面] 剣道場357.29m2 [※1面]	—	1976年	令和10年度末、複合公共施設完成予定
	若松武道場	●		柔剣道場 (1,732㎡、柔道2面、剣道2面) 弓道場 (520㎡、近的6人立)	300人	—	
	八幡東柔剣道場	●		柔道場347.22㎡ (182畳)、剣道場347.22㎡ (2面)	—	1982年	弓道場と合築し、令和5年度末、桃望武道場 (仮) として供用開始予定
	八幡西柔剣道場	●		柔剣道場 (剣道340㎡、柔道347.22㎡) [※1面]	—	—	
	香月スポーツセンター	●		柔道場234.78㎡、剣道場234.78㎡ [※1面]	—	—	
	浅生スポーツセンター (武道場棟)	●		全4面 (柔道場2面、剣道場2面)	—	2016年	旧市立浅生小学校・同中学校跡地に開設した総合スポーツ施設
	福岡市 【10】	福岡市総合体育館・武道場 (照葉積水ハウスアリーナ)	●		1,080㎡ (剣道、柔道4面)	204席	2018年
福岡市立南体育館武道室		●		14m×16.5m [※1面]	—	1982年	
福岡市立中央体育館武道室		●		18m×14m [※1面]	—	1983年	
福岡市立博多体育館武道室		●		14m×18m [※1面]	—	1984年	
福岡市立城南体育館武道室		●		15m×16m [※1面]	—	1988年	
福岡市立西体育館武道室		●		16.9m×16.9m [※1面]	—	1994年	
福岡市立早良体育館武道室		●		16m×16m [※1面]	—	1995年	
福岡市ももち体育館柔道場		●		12m×20m (240㎡) [※1面]	—	1971年	
福岡市ももち体育館剣道場		●		12m×20m (240㎡) [※1面]	—	1971年	
福岡武道館			●	剣道・柔道各4面	—	1979年	新築工事中 2025年11月完成予定
熊本市 【8】		南部総合スポーツセンター	●		剣道場1面・柔道場1面	—	—
	熊本市総合体育館・青年会館	●		柔道(98畳) [※1面] 剣道(1面)	400名	1988年	
	川尻武道館	●		武道場 (板張) 1面、小道場 (畳敷) 1面	—	—	
	武蔵塚武道場	●		板張1面	—	—	
	北部武道館	●		畳敷1面、板張1面	—	—	
	植木弓道場	●		10人立ち	—	—	
	熊本武道館		●	剣道場：556.5㎡ (2面) 柔道場：556.5㎡ (2面)	200席	1971年	1F剣道場、2F観覧席、3F柔道場、4F観覧席

競技人口減少種目等への対策検討に係る東北地方への視察結果について

第1回研究会において、服部委員から以下の趣旨の発言があった。
 「東北、北関東地方の中学生の柔道人口はそれほど減少していない一方で、広島等は減少しているという研究報告があった。この違いは何なのか。現状把握として今広島がどういう状況にあるのか。(略)柔道をする場所等のデータが取れば、理由や原因もはっきりしてくるのではないか。」
 委員の御意見を踏まえ、その原因究明のために東北地方の視察を行った。本資料はその調査結果である。

1 仙台大学との協議事項について

服部委員から紹介いただいた仙台大学(体育学部 現代武道学科)へヒアリング調査を行った。

(1) 東北地方における柔道競技人口

ア 他県に比べて柔道割合が高い要因(考えられるもの)

- ・ 大正一昭和初期にかけて、都市部では種目ごとに幅広い分布があったのに比べて、地方では武道と陸上競技に人口が集中し、そのまま現在に至っているのではないかと考えられる。そのため、部活動の選択肢の少なさ(限定的)が要因と考えられる。
- ・ スポーツの伝搬の速度や、それに応じた施設の整備について、都市部と地方ではかなり差がある。パークール等ニュースポーツに親しむ環境が十分に整っていないからかもしれない。
- ・ 雪のため、室内競技が増える傾向があるのではないかと考えられる。

イ 武道競技を普及させ、それを定着・維持させるための工夫

武道が普及する一つの要因に、強豪校の存在がある。強い学校があれば生徒も集まり、成果を上げればまた生徒が集まる。このように特定の学校に人が集まると、それだけで競技人口が多く見えてしまう。

(2) 拠点型スクール

仙台大学では、スポーツ活動の普及奨励を図るため、仙台大学を拠点とし、大学教員及び運動部に所属する学生が指導者となって中学生に技術等を教える事業を行っている。大学としては、部活動の地域移行も見据えている。

- <会場> 仙台大学
 <開催時期> 10月~1月の休日
 <回数> 各競技2回程度/年
 <対象> 中学生
 <競技> 野球、バスケ、柔道、剣道等(11種目)
- ・ 公益財団法人スポーツ安全協会から助成金をもらって実施。
 - ・ 各中学校にチラシを配布して周知。
 - ・ 大学も地域貢献を求められており、大学は部活動の地域移行に生き残りをかけている。

(3) その他仙台大学が主体となった取組

ア 中学校への指導者(学生)派遣

武道支援事業として、教育委員会からの依頼で部活動へ指導者を派遣している(直近3年間程度)。

(派遣のイメージ) 教委⇒大学⇒各運動部⇒指導に適切な部員⇒中学校

報酬は1回1,000円程度。指導時間は1時間程度。野球や男子バスケなどでも行っている。

イ 仙台大学柔道塾

大学教員及び学生が指導者となって、大学所在地(柴田町)のスポーツ少年団に入団する幼児・小学生を対象に、各道場等の垣根を越えて一同に集まって稽古している。コロナ前は60人程度。

2 武道教室について(岩手県庁スポーツ振興課、岩手県スポーツ振興事業団との協議)

通年で1万人を超える人が参加する「武道教室」を実施する岩手県庁でヒアリング調査を行った。

(1) 取組内容

ア 概要

- <主催> 岩手県、(公財)岩手県スポーツ振興事業団
 <会場> 岩手県営武道館
 <開催期間> 4月~3月まで通年
 <活動時間> 18時30分~20時30分 ※相撲:土曜9時30分~11時30分
 <対象> 小学生以上(初心者も可)
 <武道> 柔道、剣道、弓道、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、相撲

イ 経緯と利用状況

- ・ 県営武道館が建設された翌年の平成3年から始まり、以降30年以上継続している。
- ・ 県の委託事業であり、毎回指導者を派遣するなど各連盟が「主管」として運営している。

(令和4年度利用実績)

武道	柔道	剣道	弓道	空手道	合気道	少林寺拳法	なぎなた	相撲
回数/週	3	2	3	2	2	2	2	1
回数/年	107	83	139	68	82	82	85	19
利用者数/年	3,223	1,521	2,540	636	618	940	896	219

ウ 運営者として感じている成果

- ・ どこで習ってよいか分からない人にとって、県の事業だと安心して参加できると思われる。
- ・ 小・中学生と一緒に活動しているため、部活がない中学校へ進学しても続けることができる。
- ・ 過去の生徒が指導者として武道教室に携わることもある。
- ・ 毎年3月に各連盟が集まり、次年度の活動を話し合うなど団体間の交流の場にもなっている。

エ 運営者として感じている課題

- ・ 指導者の後継者不足。長年同じ人が指導している。その中で柔道は比較的若い指導者がいる。
- ・ 武道館から遠くに居住する人の参加が難しい。
- ・ 連盟や県民からのニーズはあるので継続したいが、県の予算が先細りしていることが課題。

(2) 関係団体の役割分担

